

■ 研究所だより

須賀 貴子

3月15日、映画『ワーカーズ』がポレポレ東中野にて、幕を下ろしました。新聞各社で取り上げていただき、さらには3週間のロングランとなり、3,000人近くの方に観ていただきました。各地のミニシアター(単館映画館)での上映も広がろうとしています。

また、全国各地でも映画上映実行委員会が立ち上がり、上映運動が本格的に始まっています。埼玉県所沢市でも、森の102工房(NPO法人ワーカーズコープ)と近隣事業所が中心となって、映画上映実行委員会を呼びかけ、2月21日に第1回目の実行委員会(準備会)を開催いたしました。ご参加いただいた方々は、埼玉高齢協や生活クラブといった団体の方をはじめ、市議会議員や研究者、森の102工房が開所する前から、とうふや湯葉の試食をしていただいた近隣の方や、イベントの準備などをお手伝いしてくださる方にも参加して頂きました。

事務局にとって初めての映画上映運動ということもあり、右も左もわからないなかで開催し、地域の方々からは「何故、この映画を所沢で取り組むのか」ということを強く問われました。映画の趣旨を伝えることはもちろんですが、いちばん大切なことは、「地域で取り組む目的」を地域の現状に引き寄せて考えることです。第1回実行委員会では、私たち自身が地域をどのように把握し、地域づくりをどのように描いてい

るのが未熟だったことを思い知らされました。残り3ヵ月半は、地域のことを知り、地域のあらゆる団体や人とつながり、たくさんの充実した出会いの期間としていきたいと思います。

映画上映運動の目的は、「協同労働を広げる」ということと合わせて、地域の出会いや発見、新たなネットワークづくりだと思っています。事業所にとっては、既存の事業の枠を超え、地域課題を共有し、仕事おこしや地域づくりを共に描く。事業所が地域づくりの拠点となるよう大きく飛躍するチャンスです。

さらには、実行委員会の参加者より「(初めから、呼びかけ先を決めてしまうのではなく、上映運動は地域に)風をおこすもの」と発言がありました。地域をどうにかしたいという人はたくさんいます。地域の人にとっても、そういった隠れた地域の宝とつながり、地域づくりの風をおこす機会、場にしてもらいたいと思います。

所沢では、7月6日の映画上映会に向けて、これから毎月1回の実行委員会とメディア向けの試写会を予定しています。地域の皆さんの力を存分に借りて、映画上映運動を進めていきます。西武線沿線にお住まいの方、お勤めの方は、是非是非、実行委員会にご参加ください。